

〈解答〉

- ① 1 〔例〕（農業就業者一人当たりの）耕地面積が広く、農業産出額が多い。
2 養殖
3 a：イ b：ア（両解）
4 ウ
5 ウ
6 ①：黒潮〔日本海流〕 ②：エ
7 ①：冬 ②：季節風

配点 ① 1は2点、他は各1点 10点満点

〈解説〉

- ① 1 北海道の農家1戸当たりの耕地面積は、全国平均の約11倍で、大型トラクターを活用するなど機械化が進んでいる。
- 2 三陸海岸の沖で暖流と寒流のぶつかる潮目は、たくさんの魚が集まる好漁場になっているため、沿岸には、八戸や気仙沼をはじめとする日本有数の漁港が集まっている。波が少なく海がおだやかなりアス海岸では、こんぶやわかめ、かきの養殖も盛んである。
- 3 Bの静岡県が位置する中部地方には、日本アルプスと呼ばれる3000m級の飛驒山脈、木曾山脈、赤石山脈があり、静岡県の北部には赤石山脈がそびえている。
- 4 Cの長野県の標高1000mをこえる高原では、夏でもすずしい気候を生かして、レタスや白菜などの野菜の栽培が盛んである。高速道路を利用して、東京など大都市に出荷されている。抑制栽培とは、施設などを使って、農作物の生育をおさえることで、出荷時期を遅らせる栽培方法である。気候の冷涼な地域での栽培は、自然に抑制栽培の効果が生じている。促成栽培とは、温暖な気候やビニールハウスなどの施設を利用して、農作物の生育を早める栽培方法である。
- 5 人口集中地区が占める割合が最も高いアが神奈川県、過疎地域が占める割合が最も高いイが島根県、次に高いエが徳島県、残るウが福岡県である。
- 6 Dは和歌山県である。果樹栽培は、扇状地や台地、ゆるやかな斜面の広がるところで盛んである。りんごは東日本、みかんは西日本、ぶどうは中央高地に大きな産地が見られる。
- 7 Eは富山県で、4図は、^{となみ}砺波平野の散村地域で見られる伝統的な建物と敷地である。冬にふく北西の季節風を避けるための屋敷林が植えられている。